

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
1 基本的生活習慣を身につけ、自己の研鑽に努め、信仰の薫育、奉仕の精神を養うとともに「公德心」を育成する。	① 合掌と賛歌、瞑想の朝礼礼拝を行い、一日の学びの始まりに心を落ち着かせ、自分を見つめる。SH時の担任から生徒への語りかけは薫育の場とする。	宗教科 学担会 総務	生徒の聞く姿勢に目を配り、何を語りかけるか準備をする先生方が多く見られる。先生方の個性と信頼が結びつき、新しい人間性が育まれている。	【努力指標】 心を落ち付かせ素直に自分を見つめる時間とし担任の言葉が生徒に届くものとなっているか。	SHが「自分自身を見つめる」時間となっている A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が10%以上 においては内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 宗教の授業や宗教行事(花まつり、報恩講)を通じて自己の内面を省みる。	宗教科	宗教の授業や宗教行事を通して学んだことは、宗教科文集「預流」にまとめられている。	【努力指標】 授業や宗教行事での学びは、自分を見つめる時間となっているか。	自分の内面を省みて生き方を考える時間となった A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 本校の根幹である宗教教育についての認識を深める研修の機会を持つ。	宗教科 第1学年	一年生は東本願寺にて1泊2日の宿泊研修を10月に行い「生きること」とは何かを学んでいる。	【努力指標】 講話をはじめ研修が有意義と感じたか。	宗教教育の認識を深める有意義な研修となった A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 基本的生活習慣の確立を目指し生徒の心に届くよう、教職員全員が率先垂範に心掛ける。生徒の心に自己肯定感を養い、やる気を引き出す指導を目指す。	総 務 教 務 生徒指導	高校教育は社会性を身に付ける最後の時期と捉え、様々な教育活動を通して規範意識や基本的生活習慣の確立を目指した指導を行っている。	【成果指標】 具体的に項目をあげ学校生活を主体的に取組んでいると自己評価できるか。	基本的生活習慣が定着していますか A 十分に定着し取り組んでいる B まあまあ定着し取り組んでいる C あまり定着せず取り組んでいない D 取り組んでいない	C・D評価が15%以上 で指導体制を強化する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 清掃は共に学ぶ場への確認であり、学びの場への尊敬である。「掃除は自分たちの生活の答案」と捉えて、奉仕と思いやりの心を育む。	総務(管理) 生徒会 生徒指導	奉仕の精神で仲間とともに校舎の清掃に励む生徒の姿が見られる。校舎をより丁寧に使う習慣と「奉仕のこころ」を育む教育を大切にしている。	【成果指標】 気持ちよく清掃活動に一人ひとりの生徒が気持ちよく清掃(奉仕)活動に向きあえたか。	気持ちよく清掃活動に向き合えたか A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D判定が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑥ 幅広い読書を意欲的に行うことで、思考と情操を深め、自らの人格形成に生かす生徒の育成を図る。	図書館 総 務	読書を通して主体的な学びに結びついたと、生徒の声が得られた。読書週間の啓発指導が活かされている。	【努力指標】 教養、感性、価値観を身に付ける為には不可欠であり、定着しているかどうか。	読書に親しむ習慣は増えましたか A とても増えた B まあまあ増えた C 変わらない D 習慣はない	D判定は意欲を促進 する内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
2 各科・コースでの目標に沿った「学びのある学校」を目指し、授業力の向上に励み、生徒一人ひとりの進路実現に向けて学習意欲の涵養に努める。	① 各教科において、興味、関心、意欲を引き出す授業の確立に向けて、教材研究に励むとともに、授業を振り返って授業改善に努める。	教 務(研修) 教 科	興味、関心、意欲を持たせる授業を目指し、教師間の授業互見や研究授業など、校内研修を通して、指導力の向上に取り組んでいる。	【努力指標】 授業は分かりやすく工夫されているか。	授業の工夫を実感している生徒の割合 A よく工夫されている B まあまあ工夫されている C あまり工夫されていない D 工夫されていない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 生徒達への「学びの保障」の実現に向け、指導力の充実に目指し自己研鑽に励む。	教 務 教 科	教員はそれぞれの専門性を高めるために自己研鑽に励んでいる。また個々の生徒に寄り添い、個に応じた指導に努めている。	【努力指標】 指導力向上を目指し自己研鑽に努めたか。	指導力向上を目指し自己研鑽に励んだ A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	③ 普通科のビジネス、進学、特進の各コースと体育科の特色あるカリキュラムをより顕在化するように研究と指導に励む。	各コース 体育科 教 科	各コース、科において、級・資格検定の合格率、取得率が高くなり生徒達のモチベーションに繋がっている。放課後に教えを求める姿が多く見られる。	【満足度指数】 各科・コースの特色ある指導に、学習習慣が身につく、各種検定資格など取得できたか。	主体的な取り組みについての自己評価 A 意欲的に取り組めた B まあまあ取り組めた C あまり取り組めなかった D 取り組めなかった	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 各学年において、一貫したキャリア教育を通して、職業観や勤労意欲の育成に努め、よりよい進路選択の一助とする。	進 学 就 職	進路ガイダンス(進学・就職)や大学・企業見学又は実習を行っている。また、選考に向けての指導も確立され、生徒達の希望に添える結果が得られている。	【努力指標】 各学年で実施されたキャリア教育において、生徒自身が、有意義なものと感じているか。	実施された進路指導(進学・就職)が A とても役立つ B まあまあ役立つ C あまり役立たなかった D 分からない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 「総合的な探究」の時間を活用し、各コース、科でのガイダンスやホーム担任との面談を実施し、進路実現に向けて意識を高める。	教 務 進 学 就 職	キャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図り、学習意欲向上に繋げている。また、具体的学習方法や実践的アドバイスなど両指導部と学年団で連携を図っている。	【努力指標】 担任との面談が自分の進路目標設定や進路実現に有効であると考えている。	進路指導において担任との面談が A とても役立つ B まあまあ役立つ C あまり役立たなかった D 分からない	D評価が25%以上 において内容、指導方法を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
3 教職員一人ひとりが学校経営に参画している自覚を持ち、組織的、機能的な学校運営に努める。	① 学校経営計画が掲げる教育目標の達成を目指し、目標達成に向けた施策を設け、運営ビジョンを具体的に掲示する。	全職員 各分掌	教職員組織の機能性を求め、校長と職員の面談を行い、現状を把握し、各分掌の教育目的の達成に向け連携・協力体制が取れている。	【満足度指数】 各分掌の目標の実現に向けた活動に、教職員が一丸となって取り組んでいるか。	学校経営計画をよく理解し努めている。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が10%以上において指導体制を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	② 管理職の責任の下、校務分掌の主任制を適切に機能させるとともに、教職員が学校経営への参画意識を持って組織的に業務に取り組む。	全職員 各分掌	校務分掌毎に主任制が機能し、適切に組織され、実務責任者との連携が取れている。同じく主任から管理職との連携協力体制ができている。	【成果指標】 コース科・各校務分掌の主任制が機能し、全職員が共有し、連携協力体制が取れているか。	教員間の連携協力体制が機能している。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が30%以上において活動のあり方を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	③ 校内における研修の年間計画を立て、それを実施していく体制を整える。	全職員	新たな体制のもとで、新規に若手研修の校内師範塾が立ち上がるなど、従来の職員研修の改編がなされ、校内研修が持つ意義の再確認がなされている。	【努力指標】 指導力のスキルアップを目指し、研修や授業互見など、お互いに学び合う雰囲気がある。	指導力向上を目指し継続的に取り組んでいる。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が30%以上において活動のあり方を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	④ 学校経営に参画している自覚を持ち、建学の精神のもと、周囲と協力して組織的に業務に取り組む。	管理職 全職員	多くの教職員がそれぞれに責任を持って校務分掌に取り組んでいる。新たな組織編成で、学校経営が持つ意義を再確認している。	【満足度指数】 計画された教育活動に理解と責任を持ち、教職員が一丸となって取り組んでいる。	学校経営・運営を理解し積極的に取り組んでいる。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 教職員全体の共通認識のもとに生徒指導に取り組む体制が整備されている。	全職員 各分掌	生徒指導課を中心に、学校全体の共通理解のもとに生徒の指導が行われている。また生徒はクラス担任から適切な指導や助言を受けている。	【満足度指数】 生徒指導における指導が、適時適切に行えているか。	生徒指導が適時適切に行えている。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
4 地域に根ざした学校として、保護者、教職員、そして、地域の方々が敬愛と信義の念を持ち、連携・協働して生徒の教育にあたる。	① 「お花見まつり」や「宗教・公開講座」などを開催して、地域の方々と交流を通して、学校と地域の信頼関係を深める。	総 務 保健体育 生徒会 PTA	地域の方々の本校に対する関心や期待感が高まっている。また、浄土真宗の教えに学びの場を求める声が多い。冬の除雪奉仕に多くの感謝の声が寄せられている。	【成果指標】 地域の方々に本校の教育活動に理解を得られているか。	本校の教育活動が地域に A よく理解していただいている B まあまあ理解していただいている C あまり理解していただけない D 理解していただいていない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	宗教講座に参加された方々やPTA役員へのアンケートを実施する。
	② 登下校時、通学路として利用している学校周辺道路を、全校生徒で清掃活動を実施し、行政企画の「わが町美化ピカ隊」への参加とする。	総 務(管理) 全学年 (PTA)	5月に実施している遠足で、近隣通学路の清掃を行っている。また部活動単位で奉仕活動に取り組んでいる。共生する地域への思いに気づき、「奉仕の精神」が育まれている。	【努力指標】 地域共生と環境美化のこころを育み、主体性を持って取り組めたか。	校外奉仕活動に対する自己評価は A 積極的に取り組めた B まあまあ取り組めた C あまり取り組めなかった D 取り組めなかった	C・D評価が30%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 交通安全対策を積極的に推進するとともに、交通マナー向上に努める。また蛍光タスキを配り夜間の安全を確保するとともに雨具の携行を義務づけている。	生徒指導 生徒会	生徒達の意識調査では交通マナーの意識は高い。しかし生活の慣れから、マナー、モラルを見失いがちである。生徒の現状を見極め先見の注意喚起を大切にする。	【成果指標】 交通規則を遵守し、マナー、モラルを心掛けているか。	交通マナー、モラルにおける自己評価は A きちんとできている B まあまあできている C あまりできていない D できていない	C・D判定が10%以上 で指導体制を強化する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 危機管理意識を高め、事故防止と発生時の救急対応に万全を期す。また、頻発する自然災害に対し、防災教育の啓発に努める。「三大訓練の実施」	総 務 保健体育 生徒指導	非常時の対応や避難行動を学ぶ良い機会となっている。事前、事後指導があつての訓練であり、反省を踏まえて、マニュアルの再点検や新たな試みを計画してみたい。	【成果指標】 不慮の事故防止のための研修・実施訓練を行っている。	危機管理に関する校内教員研修・訓練を A 年間3回以上行った B 年間2回行った C 年間1回行った D 行わなかった	C・Dにおいては日程・内容を検討する。	危機管理として防災訓練を6月・11月、AED講習を5月に予定。
	⑤ 保護者が本校の教育活動に参加する機会を増やすことで、学校への理解を深め保護者との連携を図る。	総 務 生徒会	保護者が主体的な参画できる学校運営の活動計画づくりを進めている。様々な機会を通して教育活動への理解を深め深めている。	【成果指標】 保護者がPTA活動に参加して頂くことで、教職員との連携を深め、より良い活動に繋げる。	本校の教育活動を A よく理解することができた B ある程度理解することができた C あまり理解できなかった D 理解できなかった	C・D判定が15%以上 で日程・内容を検討する。	PTA役員へのアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
5 生徒会活動、部活動のより活性化を目指し、自主・自律・協調の精神を育成し、心身の健全な発達を求める。	① 生徒自身の主体的な活動を通して、人間関係の構築や連帯感、自己肯定感を育むとともに、学習意欲の向上につなげる。部活動加入率は96%と高く、更に活動充実を図る。	生徒会 第1学年 学年	部活動は高い充実感を感じるが、競技力だけを求めず、育てることを見失なうことがなく、最後までやり遂げる意義を伝えていきたい。 [高体連総合成績: 男子3位・女子4位、男女総合4位: 男子優秀校受賞] [野球: 甲子園出場2年連続4回目]	【満足度指数】 生徒達が部活動運営や方針に対し充実感を抱き、満足しているかどうか。	指導方針や活動内容に充実感を抱き A とても満足している B まあまあ満足している C あまり満足していない D 満足していない E 所属しているが参加していない F 所属していない	C・D評価が10%以上において指導体制を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 生徒一人ひとりの生徒会活動への参画意識を高め、全校からの意見を十分に取り入れた活動を行っていく。	生徒会 学年	執行部を中心に主体的に活動し、生徒と教職員との信頼関係が見られ、活動はとても有意である。更に生徒達がより過ごしやすい環境づくりを目指している。	【成果指標】 生徒自身が自主的且つ主体的に協議し、意思決定実施しているか。	生徒会活動に積極的に参加し楽しめましたか？ A 積極的に参加し楽しめた B まあまあ参加し楽しめた C あまり参加できず楽しめなかった D 参加できずに楽しめなかった	C・D評価が30%以上において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 公安・保健委員会による挨拶運動や交通安全啓発活動としての呼びかけなど、生徒たち自らの行動に繋がられるよう働きかける。	生徒会	自転車の交通規範やマナーの遵守など、社会規範が身に付けられるよう、生徒たちの現状を見極め、先見の注意喚起で指導を行っている。	【努力指標】 集団や社会の一員として、ルール・マナーやモラルが身についているか。	自己自制や社会規範の定着度が A きちんとできている B まあまあできている C あまりできていない D できていない	C・D評価が30%以上において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 鑑賞や創作を通して情操陶冶と健やかな人間形成に役立てる。	生徒会 国語科	文化教室や短歌・俳句大会など、生徒の感性や心に訴えかける文化的な学校行事も計画されている。	【満足度指数】 鑑賞や創作に意欲的に取り組めたか。	豊かな情操を育むことに A とても役立った B まあまあ役立った C あまり役立たなかった D 役立たなかった	C・D評価が25%以上において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。